

JETOみやぎのあゆみと様々なご支援

2011年

- 5月 JETOみやぎ 団体設立／設立発起会／設立総会
- 6月 リーフレット・支援グッズの制作／ホームページ公開
横浜フューネラルビジネスフェア出展 チャリティイベント
いのうえファミリー会にてチャリティ(株式会社いのうえ様)
宮城県との連携による震災孤児の募集を開始
- 7月 団体設立記者発表(仙台経済界／リビング仙台に記事掲載)
アーティスト・歌手 EPOさん全国チャリティライブ
- 9月 「日本折り紙ヒコーキ協会」チャリティ寄付金の贈呈(株式会社キャステム様)
- 11月 佐野文彦さん東日本大震災支援 チャリティ・ライブツアーより
- 12月 絆のツリープロジェクトよりご寄付

2012年

- 2月 特定非営利活動法人(NPO)法人格を取得／「生活・教育支援金」の支給が決定
- 3月 河北新報夕刊「再生せんだいひと模様」に掲載される
「ボランティアキッズ屋台村」チャリティ(株式会社オレンジライフ様)
庄野真代さんチャリティコンサート
「てきに〜じ〜コンサート」チャリティライブ(北海道議会議員 三井あき子 事務所様)
平成23年度「生活・教育支援金」贈呈式を執り行う(気仙沼、石巻、仙台)
- 4月 ダッチャー奨学金キャンペーンより寄付金の贈呈
その他500名以上の方々から総額10,021,457円(2012.3.31時点)のご寄付をいただきました。

ご支援のお願い

すべて皆さまからのご寄付・賛助によって成り立っています。
活動の推進を円滑に行い、目的を達成するためにも皆さまには、JETOみやぎの活動にご理解と賛同をいただき、活動への末永いご支援をお願い申し上げます。



ステッカー

100×210mm
様々なものに貼ることのできるステッカーです。



ピンバッジ

10×25mm
ダイキャストの特製ホワイト・ゴールドリボンピンバッジです。



マグネット

100×210mm
ラバーマグネット車のボディなど金属面に繰り返し貼ることができます。

2012年度のご支援受付を開始いたします。
何卒、継続的なご支援をよろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人化に伴い、法人賛助会員費を1口3万円から1万円に変更しております。
賛助会員として3万円をお納めいただいている分については3口として処理させていただいております。予めご理解とご了承いただきますようお願いいたします。

JETOみやぎの事業年度は毎年5月1日から4月末までです。

正会員(年・10万円)の方は、総会での議決権を有します。
総会開催時にはJETOみやぎより事前に出欠のご連絡をお送りいたします。

お申込み・お問い合わせ

電話: 022-782-0303 メール: info@jeto-miyagi.org
ホームページ: http://jeto-miyagi.org

1年を終えて



2012年1月26日に宮城県より特定非営利活動法人としての認可を受け、2月2日には法人登記を済ませることができました。また、3月28日には無事に対象となる震災孤児84人に給付金を支給できたのも、株式会社清月記を始め理事の方々、そして何よりも賛助会員様やご寄付いただいた方々のご協力・ご支援がなければ難しかったことだと思います。これからは「震災の風化」との闘いになります。そして新たに支援の内容も発展していかなければなりません。

厚さ1ミリの紙も1回折ると2ミリですが、22回折ることで富士山を超える高さとなります。ひとつ一つのチカラを集め、震災孤児への限りないエールが送れるようお願い、これからのJETOみやぎの活動にどうかご期待ください。

JETOみやぎ運営事務局
事務局長 野川 貴之

ご寄付

個人寄付 1口 1,000円より
JETOみやぎ支援グッズを1点差し上げます

賛助会員

個人 年・1口 10,000円より
法人 年・1口 10,000円より
1口よりご賛助いただけます

賛助会員の特典

1. JETOみやぎ支援グッズを3点差し上げます
2. ニュースレターをお届けします(不定期)
3. JETOみやぎ主催の特別企画などにご招待いたします

2011年5月から10月までに賛助会員になられた方
2012年の5月末までにお納めください。

2011年11月から2012年4月までに賛助会員になられた方
2012年の11月末までにお納めください。

お振込先

七十七銀行 卸町支店 普通口座5786851
NPO法人 JETOみやぎ (エヌピーオーオージンジェットミヤギ)
※ お振込手数料はご負担ください。

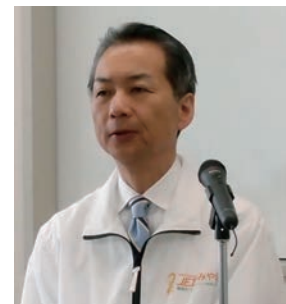
JETOみやぎ NEWS

2012年4月号



ご支援頂いている皆様のお陰様で2011年度は給付金事業にて宮城県内84人の震災孤児に一人10万円の「生活・教育支援金」を支給することができました。
3.11東日本大震災で両親を失った震災孤児らも困難を乗り越え、未来に向かって前向き歩み始めています。今後も経済的な支援に加え、就学・留学などの教育支援や心のケアにも力を入れたいと考えています。皆様からの継続的なご支援を宜しくお願い致します。

特定非営利活動法人JETOみやぎ
理事長 菅原裕典



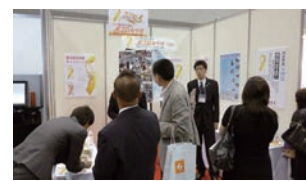
JETOみやぎ設立からこれまでの軌跡

JETOみやぎ設立に向けて

2011年3月11日に発生した東日本大震災を受け、株式会社清月記の社員有志にて菅原裕典社長を発起人としたJETOみやぎの設立に携わらせていただきました。
初めに『「東日本大震災で両親を亡くした宮城県在住の震災孤児」に対して、「給付金事業」、「その他支援のための各種企画・イベント運営」に関する事業を行い、震災孤児の健全な育成に寄与することを目的とする。』という、団体目的やNPO法人としての定款・事務手続き準備に着手いたしました。

最初に行ったこと

運営及び活動の柱となる資金を集めるため、総合葬祭業として同業者が集まるイベントや企業を訪問し、寄付・賛助会員の呼びかけをさせていただきました。その他、ラジオやメディアでの告知、全国を回って支援を訴えて参りました。



2011.6.28・29
フューネラルビジネス・フェア(横浜)にて
チャリティブースを出展



各種イベントやメディア、会合にて
支援の呼びかけ

記者発表会



2011年7月29日、仙台市中心部にあるぶつだんギャラリー中央清月記の4階にて、記者発表を開催いたしました。用意した席が全て埋まるほど多くの記者の方にご来場いただきました。その後、お問い合わせや掲載のご連絡をたくさん頂戴しております。

アーティスト「EPO」 ラジオを通じた心のカウンセリング

「EPO MUSIC TEMPLE」

エフエム仙台

毎週水曜日 20:30~20:55

人間心理に関する話題や、幅広い人脈、音楽活動で得られた興味深い話題など15年以上、東北6県と新潟でお昼のひと時をラジオからお届けしていたミュージシャンであり、カウンセラーのEPO。
自らも気仙沼とゆかりがあるため、東日本大震災をきっかけに、現在の日本人が忘れかけていた大切なものを、「JETOみやぎ」のラジオを通じて伝えています。



設立の目的

東日本大震災で両親を失った「震災孤児」の「生命(いのち)の物語」を支援する非営利の団体として、株式会社 清月記の代表である菅原裕典氏を発起人として社員有志で設立。



活動概要

心のケアや就学・留学の相談など年齢に合わせた幅広いサポートを行います。

- 東日本大震災で被災した孤児を支援するプロジェクト
- 支援グッズ(アウェアネスリボン)配布による支援金の収集
- 寄付金を震災孤児の支援に活用
- 満19歳に達する年まで長期継続的に支援
- ライフステージに応じた就学・留学・就業の支援



団体概要

ジェットは飛行機を連想させ、子供たちが未来に向けて飛び立つことを願い、「東日本大震災とその津波で両親を亡くした震災孤児に支援の手を」の英語句の頭文字より、「JETO(ジェット)みやぎ」としました。

※JETOは、for Japan Earthquake & Tsunami Orphans in Miyagiの略称になります。

被災地キャラバンを実施

震災孤児の募集には苦勞致しました。宮城県の子育て支援課の担当の方及び各自治体の教育委員会を通じ、支援の対象となる震災孤児そして給付金事業の申請の告知を行い、今年の1月には気仙沼、南三陸、女川、石巻、南は亘理町、山元町など被災地沿岸部の学校を個別に1件1件訪問させて頂きました。結果県内126名の震災孤児のうち、84名の方々にご登録をいただくことになりました。

仮設校舎で前向きに頑張っている子どもたちの姿に触れた一方で環境が激変して学校を休みがちになる児童・生徒のお話も耳にしました。



平成 23 年度 生活・教育支援金贈呈式

2012年の3月24・25日の2日間で気仙沼会場、石巻会場、仙台会場にて、平成23年度JETOみやぎ生活・教育支援金贈呈式を執り行いました。

仙台会場では、孤児からのお手紙を読ませていただきました。お手紙は、右ページにてご紹介していますので、ぜひご覧ください。

式典では、出席者一人ひとりに満19歳まで支援させていただく旨の「生活・教育支援金の認定書」の授与の他、気仙沼会場では、サプライズ・ゲストとして、米国より女子サッカー選手らが激励に駆けつけました。



気仙沼会場



2012年3月24日、気仙沼市民会館にて、平成23年度JETOみやぎ生活・教育支援金贈呈式が行われました。2名の生徒さんと4名の保護者の方にご参加をいただきました。途中、米国女子サッカー選手らが激励に駆けつけ、自らの体験に基づいて「前向きに、希望を持っていれば必ず辛いことも乗り越えられる」という力強いメッセージとともに、参加者と握手などをして交流しました。

仮設住宅のほぼ隣に位置する気仙沼市民会館にて行われた今回の贈呈式。震災の爪痕が色濃く残るこの地域で、「私たちJETOみやぎにできることがもっと何かあるのではないだろうか」、そう思いながら贈呈式を終えました。



仙台会場



2012年3月25日、TKP 仙台西口カンファレンスセンターにて、仙台地域での平成23年度JETOみやぎ生活・教育支援金贈呈式が行われました。2名のお子さんと4名の保護者の方にご参加いただきました。式の

中では、お子さん・保護者の方からいただいたお手紙も代読いたしました。大好きなお母さんを亡くし、それでも周りの人への感謝を忘れずに前向きに頑張ろうとするその子の手紙に、参加者・スタッフ・報道関係などその場にいる全ての人が心打たれました。

石巻会場



2012年3月25日、石巻市河北総合センター ビッグ・バンにて石巻地域での平成23年度JETOみやぎ生活・教育支援金贈呈式が行

われました。

5名のお子さん、10名の保護者の方にご参加いただきました。小さなお子さん達にもご参加いただくことができました。

おてがみ

JETOみやぎに いただいたお手紙

贈呈式の仙台会場にご参加いただいた山下裕士様(震災孤児のご祖父、保護者)よりJETOみやぎへの感謝と共に、孤児であるお孫さんのお手紙(代筆)を事務局にいただきました。

3月11日に発生した東日本大震災からの体験、そしてご支援いただいている皆様への感謝の想いが綴られています。

JETOみやぎでは引き続き震災孤児への支援を続けて参ります。



仙台市在住 小学校3年生の震災孤児より

今回の東日本大震災により、私の住んでいた名取市閉上も、すごいひがいをうけました。たべものもろくにたべられない、ひなん生活中で、いもうとたちとべつべつのひなんじょにいたので、しんでしまったのかと思い、とてもしんばいでした。ほかの人も、かなしみにつつまれ、たいへんじょうたいでした。

でも、おじいちゃんがきてくれたので、もうだいじょうぶと、心の中で思いました。しかし、いもうとたちはみつからず、たてこし小学校に2回も、いきました。まさかじどうセンターに、いるとは思いませんでした。やっとみつかったところで、かえり、かんずめや、おにぎりがたべられるのがやっとでした。

ある日おじいちゃんが、一人でママをさがすことになって、山形にいて、西田のおばちゃんのところへいきました。たいへんお世話になりました。ママがみつかったからかえると、ママは、しんでいました。みつかった場所は、閉上小学校の前でした。みつかったばかりの時は、きれいな顔をしていらしたです。わたしが見たときは、目の回りが、青くなっていて、かそうのときは、まっ青でした。「ママには、もうあえないんだ」そう思いました。わたしは、これから、お世話になる人がいっぱいいるでしょう。わたしのことをお世話して下さったみなさんどうもありがとうございました。

代筆

祖父 山下 裕士

ダッチャー奨学金 贈呈式



震災孤児のための

ダッチャー奨学金

仙台宮城のニューヒーロー、未知の国守「ダッチャー」がJETOみやぎ事務局を訪れ、【ダッチャー奨学金キャンペーン】で集まった募金 772,818円をJETOみやぎに寄付頂きました。

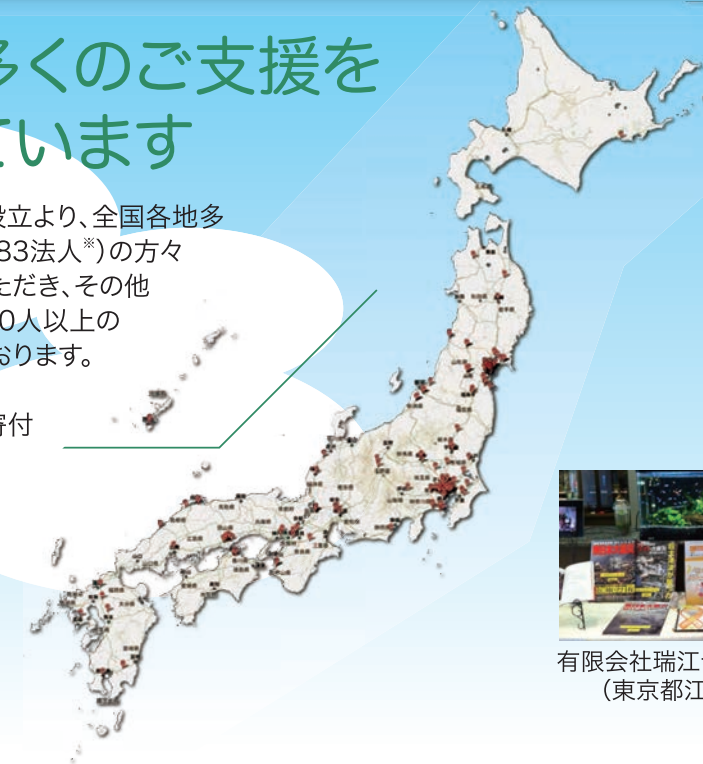
※ダッチャー奨学金キャンペーン
平成23年10月より、2,000円以上の募金でダッチャーのCDをプレゼントする企画(週刊オーレ紙面にて随時掲載)

全国から多くのご支援を いただいています

昨年5月1日からの団体設立より、全国各地多くの個人(89人※)・企業(83法人※)の方々より賛助会員になっていただき、その他ご寄付も合わせると1,000人以上の方々よりご支援を頂いております。

中には10口以上のご寄付やJETOみやぎのポスターやリーフレット、支援グッズで多くの方に告知頂く企業様もあり、支援の輪は全国に広がりを見せています。

※ 2012.4.22現在



告知ポスター、支援グッズ、寄付ボックス



有限会社瑞江セレモニー様
(東京都江戸川区)



株式会社エポック・ジャパン様
(東京都港区)